

❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁  
メールニュース2月号 理研バイオリソースセンター実験植物開発室  
❁□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁□■□■□■□❁

このメールは、最近リソースの請求をされた方、技術研修に参加された方、及び展示会等にて実験植物開発室からのメールニュースを希望された方を対象に送信しています。配信不要の方はお手数ですが、 plant@brc.riken.jp までご連絡ください。

---● シロイヌナズナ転写制御因子のORFクローンが利用しやすくなりました ●---  
このたびシロイヌナズナ転写制御因子 (RARTF) の ORF クローンに関する詳細情報をファイルで公開しました。またご興味のある RARTF クローン 100 個を選んでいただくことができる「クローンセット」の提供も開始しました。どうぞご利用ください。

<http://epd.brc.riken.jp/archives/2372>

---● ミナトカモジグサ (Brachypodium) 完全長cDNAクローンがBLAST検索対象に ●---  
10月に公開致しました、単子葉のモデル実験植物、ミナトカモジグサの完全長 cDNA クローンが BLAST により検索可能になりました。ご活用いただければ幸いです。

<http://www.brc.riken.jp/lab/epd/blast/>

<http://www.brc.riken.jp/lab/epd/Eng/catalog/brachypodium.shtml>

-----● 国際シロイヌナズナ研究会議のお知らせ ●-----  
平成26年7月28日より8月1日まで、カナダのBritish Columbia大学にてICAR2014 (25th International Conference on Arabidopsis Research) が開催されます。世界のシロイヌナズナ研究者が集い最新の研究情報を交換する会議ですので、ぜひご参加を検討ください。会議のアドレスは次のとおりです。

<http://arabidopsisconference2014.org/index.php>

-----● テクニカルサポート (No. 10) : シロイヌナズナ野生系統の遺伝型解析 ●-----  
シロイヌナズナの野生系統リソースの第3回は、野生系統の使用における注意点としての遺伝的多型についてご説明します。

\*シロイヌナズナの野生系統リソースの第1回、第2回の記事は、それぞれ以下より参照できます。

<http://epd.brc.riken.jp/wp-content/uploads/mailnews/20131220.pdf>

<http://epd.brc.riken.jp/wp-content/uploads/mailnews/20140109.pdf>

バイオリソースセンターでは保有するシロイヌナズナ野生株の系統管理のため、SSR

マーカーによる遺伝型解析システムを導入しています。AIS (The Arabidopsis Information Service) 由来の各系統を個体別に解析した結果、およそ4分の1の系統で多型が見いだされました。当室で保存する株は、AISのKranz博士より宮城教育大学(SASSC)の後藤伸治博士に分与された時の多様性を反映していると考えられます。一方で系統の中の多型は、QTL解析などの障害になることが予想されます。そこでBRCでは、主要な系統について単粒系統法により純系化を進めるとともに、純系化を進めた系統を標準系統と交配したF2種子集団の作成も試みております。

また当室ではSNPマーカーによる遺伝型解析も行っており、一部の系統でABRC由来の系統と一致しない結果を得ております。この結果は、集団にもともと存在していた遺伝的な多型を反映している可能性があり、引き続き解析を続けてゆきたいと考えております。ちなみにマウスでも、各センターで保存されている標準系統間で遺伝的な多型が見いだされており、論文発表などにおいては系統名にセンターの略号をつけて記載する場合もあります。

このように遺伝的な多型の問題も存在することから、研究成果をご発表いただく際には、使われた研究材料の入手先を明記いただくよう、お願いいたします。

実験植物開発室では野生系統の情報を以下のサイトから試験的に公開しています。SNPマーカー解析により得られた遺伝型情報などが閲覧できますので、ご活用ください。お気づきの点やご要望がありましたら開発室 ([plant@brc.riken.jp](mailto:plant@brc.riken.jp)) まで連絡お願いいたします。

<http://plant.rtc.riken.jp/J/>

リソースの寄託や提供に関わるご相談、ご質問は、お気軽に下記メールアドレスにお送りください。また年度末にご移動やご退官を控えておられる場合には、お手持ちのリソースの滅失防止と有効活用についてぜひご検討をお願いいたします。当室までご一報いただければ、寄託等の手続きのご案内をさしあげますのでどうぞご活用ください。

❀\*:. ' ° ❀ ° ' . : \* . . ❀ . : \* : . ' ° ❀ . . : \* . . : \* ❀

理化学研究所バイオリソースセンター

実験植物開発室 提供係

〒305-0074 茨城県つくば市高野台3-1-1

TEL 029-836-9067/FAX 029-836-9053

MAIL [plant@brc.riken.jp](mailto:plant@brc.riken.jp)

HP <http://www.brc.riken.jp/lab/epd/>

❀\*:. ' ° ❀ ° ' . : \* . . ❀ . : \* : . ' ° ❀ . . : \* . . : \* ❀